

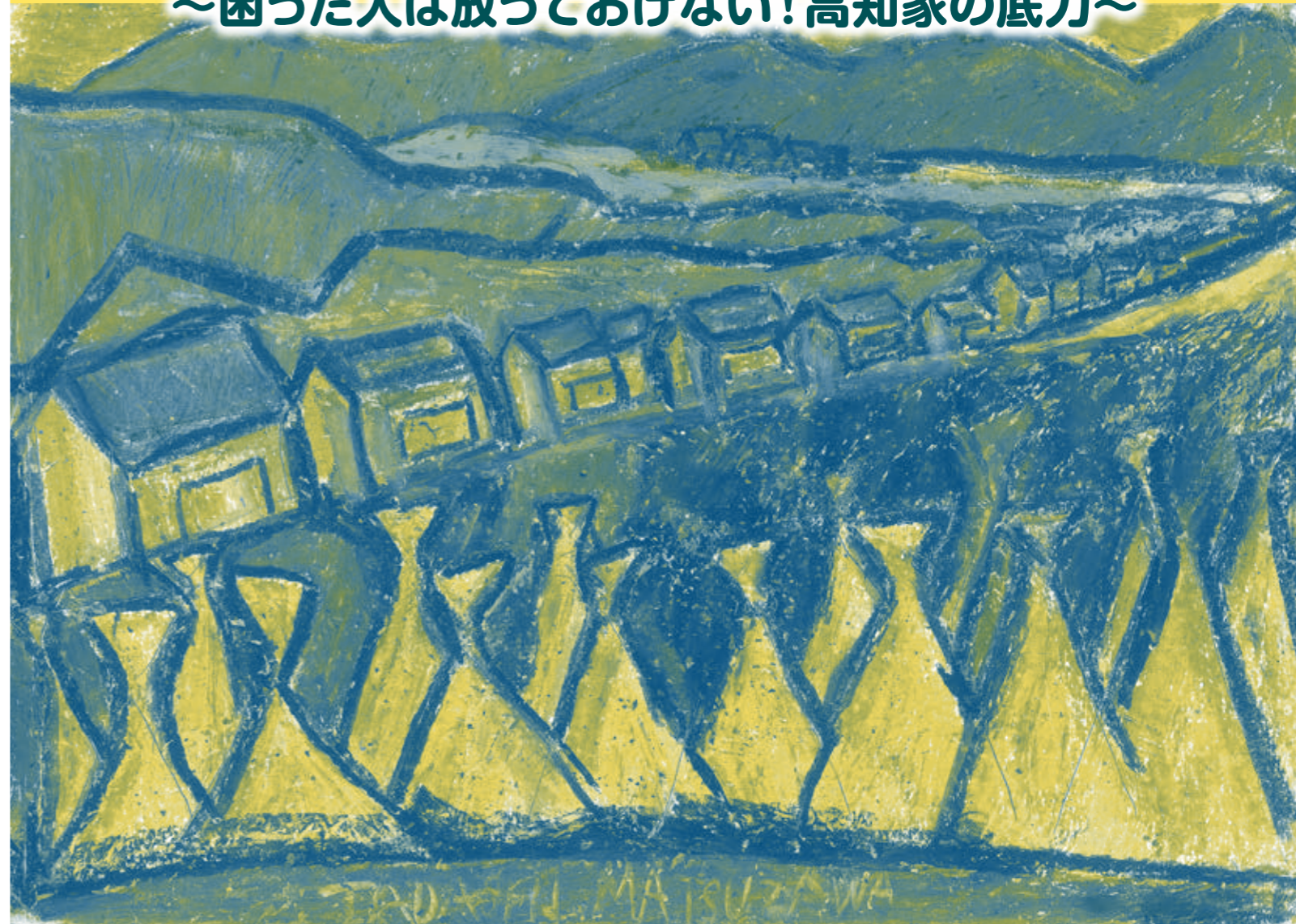
プログラム

PM 1:00	開会あいさつ 来賓あいさつ	高知県精神保健福祉協会会長 明神 和弘 高知県知事 尾崎 正直 高知市長 岡崎 誠也 高知県医師会長 岡林 弘毅
PM 1:20	表彰式	
PM 1:30	..... 休 憩 .....	
PM 1:35	アトラクション 愛幸病院	
PM 1:45	..... 休 憩 .....	
PM 1:50	講演 「つたえる・つながる・つくる -あなたの手で支えよう認知症-」	<b>講師</b> 北海道砂川市立病院認知症疾患医療センター センター長 内海久美子
PM 3:00	..... 休 憩 .....	
PM 3:10	シンポジウム 「高知家の底力」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シンポジスト</li> <li><b>「認知症予防教室を続けて」</b> 医療法人祥星会聖ヶ丘病院地域連携推進室主任 中野 奈穂</li> <li><b>「なごみ食堂」</b> 高知市旭地区民生委員・なごみ食堂代表 片田ひろ美</li> <li><b>「中芸家の底力 いろいろあっていいんじゃない ～いろんなカタチの居場所づくり～」</b> 中芸広域連合地域包括支援センター センター長 廣末 ゆか</li> <li>●助言者 北海道砂川市立病院認知症疾患医療センター センター長 内海久美子</li> <li>●座 長 高知県立精神保健福祉センター所長 山崎 正雄</li> </ul>
PM 4:25	閉会あいさつ	高知県精神保健福祉協会副会長 山崎 正雄

[主 催] 高知県精神保健福祉協会  
 [事務局] 高知県精神保健福祉協会 高知市丸ノ内1-2-20 高知県地域福祉部障害保健支援課内 TEL 088 (823) 9669  
 [後 援] 高知県・高知県教育委員会・高知市・高知市教育委員会・高知県市長会・高知県町村会・(一社)高知県医師会・(社福)高知県社会福祉協議会・(公社)高知県理学療法士協会・(一社)高知県作業療法士会・高知臨床心理協会・高知県臨床心理士会・高知県精神保健福祉士協会・高知県医療ソーシャルワーカー協会・(一社)高知県社会福祉士会・高知県精神障害者家族会連合会・(公社)高知県看護協会・(一社)日本精神科看護協会 高知県支部・高知県精神科病院協会・高知県精神神経診療所協会・(独)労働者健康安全機構高知産業保健総合支援センター・高知県民生委員児童委員協議会連合会・(特非)高知いのちの電話協会・(公社)認知症の人と家族の会高知県支部・高知県介護老人保健施設協議会・高知県地域密着型サービス協議会・高知県介護福祉士会・高知県老人福祉施設協議会・高知県介護支援専門員連絡協議会・NHK高知放送局・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・高知ケーブルテレビ・エフエム高知

# 認知症!ちからを合わせて、ちからを抜いて

～困った人は放っておけない!高知家の底力～



松澤 正

令和元年 10月9日 水  
午後 1:00～4:30

高知市文化プラザかるぽーと (大ホール)

入 場  
無 料



第59回  
高知県精神保健  
福祉大会  
大会要旨

# 「認知症！ちからを合わせて、ちからを抜いて ～困った人は放っておけない！高知家の底力～」

大会実行委員長 三浦 星治

この度は、第59回高知県精神保健福祉大会に足をお運びくださり厚く御礼申し上げます。

縁があり、高知県西部、宿毛の地で精神医療をさせて頂くようになり14年になります。関わる疾患も当初と比べ、大幅に変わってきました。現在、私の勤務先では外来、入院患者ともに「認知症」が大部分を占めております。県全体でもほぼ同じような状況が続いており、当然ですが世間の関心も強く、テレビをはじめとするメディアでも、この話題を取り上げない日はありません。

これまでの高知県精神保健福祉大会においても、何度か認知症をテーマとし、好評を得ております。また、県内でも数多くの講演会が開催され、今後も予定されているようです。今回の大会は当初、「そのような様々な情報が混在する今こそ、高知家全体で認知症について基本的な事から改めて勉強する。」といったテーマで主催を予定しておりました。しかし現場に何度も足を運び、状況をお聞きするにつれ、「情報は溢れているが、そこに辿り着けずに孤立している方々がたくさんいる。」「得意な人に頼る、困っている人がいれば手を差し伸べるといった連携が、これまで以上に重要なのでは。」といった意見が浮かび上がってきました。必然的に今回のテーマは「認知症支援における連携」となりました。

本テーマに対し貴重な御助言をいただく為に、砂川市立病院認知症疾患医療センター センター長であり、NPO法人中空知・地域で認知症を支える会理事長の内海久美子先生をお招きしました。先生は、北海道砂川市において高齢者を支えるために医療・介護・福祉・行政・地域住民の全ての連携を図る取り組みをされてこられました。これは、国が「地域包括ケアシステム」の構築を強く推進する以前からのことであり、それ故に大変貴重な、そして現場を知り尽くしたリアルな話が聞けるかと思えます。また、高知県内で、それぞれの立場で認知症と関わり、連携を実践されている方々の貴重な声を聞きたく「高知家の底力」と称し、シンポジウムも企画しております。

タイトルにある「ちからを合わせて」は今回のテーマである「連携」を意味しています。また、「ちからを抜いて」は肩に力を入れずに楽しくという意味と、凝り固まらずに「しなやかに」という意味があります。支えたい気持ちが強いあまりに「視野狭窄になっていないか」、「自分流を押し付けていないか」、「抱え込んでいないか」、「もっと得意な人をお願いできるのではないか」等。これは自戒でもあります。本大会が、力を合わせて、力を抜いた「高知家のしなやかな連携」の実現に少しでも関与できれば大会実行委員長としてこれ程に嬉しい事はございません。本日は本当にありがとうございました。

ター センター長、NPO法人中空知・地域で認知症を支える会理事長の内海久美子先生にご講演いただきます。先生は15年前から認知症の患者さんや家族、介護職、医療職を支えるネットワーク作りを進め、「高齢者見守り事業」を展開、更に一歩進んで、「安心して認知症になれる町づくり」を目指していらっしゃいます。ご講演では、こうした長期にわたる活動を通しての先生の経験やお考えなどを聞かせていただけるのではないかと楽しみにしています。

第二部は、例年通りシンポジウムとなっています。「高知家の底力」といったタイトルで高知県内で各々の立場で認知症に取り組んでいる3人の方々からお話しをさせていただきます。その後、内海先生を交えての討論の予定となっています。

認知症を限られた人だけで支えていくのはエネルギーが続き疲れてしまいます。皆が連携を取りながら力を合わせて支えていくといった姿勢が望まれるのではないのでしょうか。この大会の講演やシンポジウムが少しでも認知症の患者さんやその家族、関係者の皆様の、将来認知症になるのではないかと不安を抱えている方々に安心を与えることができればと願っています。

## ■第59回高知県精神保健福祉大会 開催にあたって

高知県精神保健福祉協会 会長 明神 和弘

第59回精神保健福祉大会の開催にあたり、多くの皆様にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今回、大会のテーマを何にするかについては色々考えましたが、もう一度認知症を学んでみようということになりました。協会では今までに何度か認知症をテーマとして大会を開催してきましたが、そのいずれも好評だったと記憶しています。認知症に関しての関心の高さは、数多く講演会がなされテレビや新聞といったマスコミでも毎日のように取り上げられていることから明らかと思われまし、まだまだ認知症について学び足りないと思われる県民の皆様もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで今回は今までと違い「認知症のご本人・ご家族を支える」という観点から「認知症！力を合わせて、力を抜いて～困った人は放っておけない！高知家の底力」を大会テーマとして選びました。

第一部では北海道の砂川市立病院認知症疾患医療セン



# 「つたえる・つながる・つくる ～あなたの手で支えよう認知症～」



講師

北海道砂川市立病院  
認知症疾患医療センター  
センター長

内海 久美子

うつみ くみこ

北海道中空知地域では15年前より認知症の方や家族、介護職、医療職を支えるネットワーク作りを進めてきました。

2004年もの忘れ専門外来の開設と同時に、「中空知・地域で認知症を支える会」を立ち上げ、家族・介護職・医療職への支援をおこなっています。当地域での特徴的な活動として「ぼっけ」という市民ボランティアグループや、条例を制定して地域住民の見守りを促し、「高齢者見守り事業」を展開しています。

「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」から、さらに一歩進んで「安心して認知症になれる町づくりへ」を目指して、地域作りを行っています。



## 講師プロフィール

### ■経歴

- S63.3 札幌医科大学卒業
- H8.6 砂川市立病院精神神経に勤務
- H8.12 アルツハイマー病研究で博士学位取得
- H19.4 砂川市立病院精神科部長就任～現職
- H20.4 札幌医科大学大学院医学研究科臨床教授
- H22.4 砂川市立病院認知症疾患医療センター指定センター長就任
- H25.4 NPO法人中空知・地域で認知症を支える会理事長就任
- H30.4 砂川市立病院 副院長就任

### 所属学会

- 日本老年精神医学会（理事・指導医・専門医）
- 日本精神神経学会（専門医、指導医）
- 日本認知症予防学会（理事）
- 日本認知症学会（代議員）
- 日本神経心理学会
- 日本総合病院精神医学会
- 日本精神科診断学学会

H16年2月よりもの忘れ専門外開設を機に、同年4月NPO法人中空知・地域で認知症を支える会設立、その後、認知症市民健康フォーラムや地域ケアスタッフ研修会や事例検討会、認知症支援ボランティア団体「ぼっけ」の後方支援、砂川市初期集中支援チーム、支えあい連携手帳の開発と普及に尽力。

H22年6月道より認知症疾患医療センターの指定を受け、H24年10月、北海道認知症疾患医療センター懇話会を設立、全道の各センターと定期的に情報共有や学習会を開催している。

H25年度、第93回北海道医学大会にて北海道医師会表彰受賞、北海道知事賞受賞、平成26年度日本認知症ケア学会奨励賞受賞。同年11月5日、東京で開催された、第2回G7認知症サミットにおいて、中空知の取り組みが世界先進各国に向けて発信された。

H28年3月、「地域で見守る認知症—砂川モデルを全国へ—」著書発刊